

# 溶融スラグ有効利用ガイドライン運用マニュアル（受注者用）

（令和8年4月）

## 目 次

1	目的	1
2	適用範囲	1
3	利用用途	1
4	適用期日	1
5	溶融スラグ入り再生加熱アスファルト混合物への利用	2
5-1	対象とする混合物の種類	2
5-2	積算単価	2
5-3	施工時の留意事項	2
5-4	製造プラント	3
6	埋戻し材への利用	4
6-1	利用用途	4
6-2	供給範囲	4
6-3	施工時の留意事項	5
6-4	溶融スラグ利用事務手続き	6
7	溶融スラグ入りコンクリート二次製品への利用	10
7-1	対象とする二次製品の種類	10
7-2	積算単価	11
7-3	施工時の留意事項	11
7-4	製造メーカー	11

## 1 目的

本マニュアルは、「溶融スラグ有効利用ガイドライン（静岡市、令和8年4月）」（以下、「ガイドライン」という。）を円滑に運用していくことを目的に作成するものです。

## 2 適用範囲（ガイドラインP.1）

静岡市が管理する国道、県道、市道、農道、林道、道路及び公共施設敷地内において施工する、静岡市発注のすべての工事

## 3 利用用途（ガイドラインP.1）

- ① 西ヶ谷清掃工場の溶融スラグ → コンクリート二次製品、再生加熱アスファルト混合物及び埋戻し材（砂の代替材）

## 4 適用期日

- ① 再生加熱アスファルト混合物  
→ 平成22年2月1日に積算する工事から適用
- ② 埋戻し材（砂の代替材）  
→ 平成23年5月1日以降に積算する工事から適用。
- ③ コンクリート二次製品  
→ 平成23年2月1日以降に積算する工事から適用。

## 5 溶融スラグ入り再生加熱アスファルト混合物への利用（ガイドライン P.7）

### 5-1 対象とする混合物の種類（ガイドライン P.7）

溶融スラグを細骨材として利用した溶融スラグ入り再生加熱アスファルト混合物の種類は、次のとおりとします。

- ① 再生密粒度アスファルト混合物（13） A 配合 [表層用]
  - ② 再生密粒度アスファルト混合物（20） A 配合 [表層用]
  - ③ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） A 配合 [基層用]
  - ④ 再生加熱アスファルト安定処理路盤材 [（上層）路盤用]
- ※ 仮舗装には原則として適用しないこととします。

対象とする混合物一覧表

交通量区分			表層用混合物	中間層・基層用混合物
N <sub>7</sub>	D	3,000 以上	密粒度アス <sub>ツ</sub> （20） 改質Ⅱ型 B 配合	中間層・基層 粗粒度アス <sub>ツ</sub> （20）改質Ⅱ型 B 配合
N <sub>6</sub>	C	1,000～ 3,000	密粒度アス <sub>ツ</sub> （20） 改質Ⅱ型 B 配合	中間層・基層 粗粒度アス <sub>ツ</sub> （20）改質Ⅰ型 B 配合
N <sub>5</sub>	B	250～ 1,000	密粒度アス <sub>ツ</sub> （20） 改質Ⅰ型 B 配合	基層 （再生）粗粒度アス <sub>ツ</sub> （20） B 配合
N <sub>4</sub>	A	100 ～ 250	（再生）密粒度アス <sub>ツ</sub> （13） A 配合	—
N <sub>1</sub> ～N <sub>3</sub>	L	0 ～ 100	（再生）密粒度アス <sub>ツ</sub> （13） A 配合	—

（台/日・1方向）

### 5-2 積算単価（ガイドライン P.10）

地区番号 214 及び 216～219 においては、「溶融スラグ入り再生加熱アスファルト混合物」の積算単価は、「溶融スラグを含まない同一種類の再生加熱アスファルト混合物」と同一単価とします。

### 5-3 施工時の留意事項（ガイドライン P.11）

- ① 再生資源利用計画書（実施書）における建設資材利用の「アスファルト混合物」の規格欄に「スラグ入り再生（〇〇） A 配合」等と明記してください。
- ② スラグ入り再生混合物 12t 以下の注文は、下記の条件において溶融スラグを含まない同一種類の再生混合物で出荷される場合がありますが、その場合においては、スラグ入り再生混合物を使用する必要はなく、溶融スラグを含まない同一種類の再生混合物で施工してください。
  - （1） 出荷希望日が、溶融スラグを含まない再生混合物の出荷の繁忙期であった場合。
  - （2） 出荷希望日が、溶融スラグを含まない再生混合物を連続作業で出荷している場合。

#### 5-4 製造プラント

承認を受け、溶融スラグを細骨材として利用した溶融スラグ入り再生加熱アスファルト混合物の製造プラントは、次表のとおりとなります。

溶融スラグ入り再生加熱アスファルト混合物の製造プラント

プラント名	場所	密粒度 (13)A 配合	密粒度 (20)A 配合	粗粒度 (20)A 配合	加熱アスファルト安定 処理路盤材
TOREKI・NIPPO JV	静岡市駿河区 下川原南1-1	○	○	○	○
大林道路(株) 静岡アスファルト 混合所	静岡市葵区 芝原21-21	○	○	○	○
日本道路(株) 静岡合材センター	富士市五貫島 1156	○	○	○	○
共同企業体 静岡 つばさアスコン	藤枝市岡部町 内谷784-2	○	○	○	○
セイエン商事(株) 木内アスコン藤枝 工場	藤枝市稲川852	○	○	○	○

凡例 ○：承認を受け該当材料を製造可能なプラント

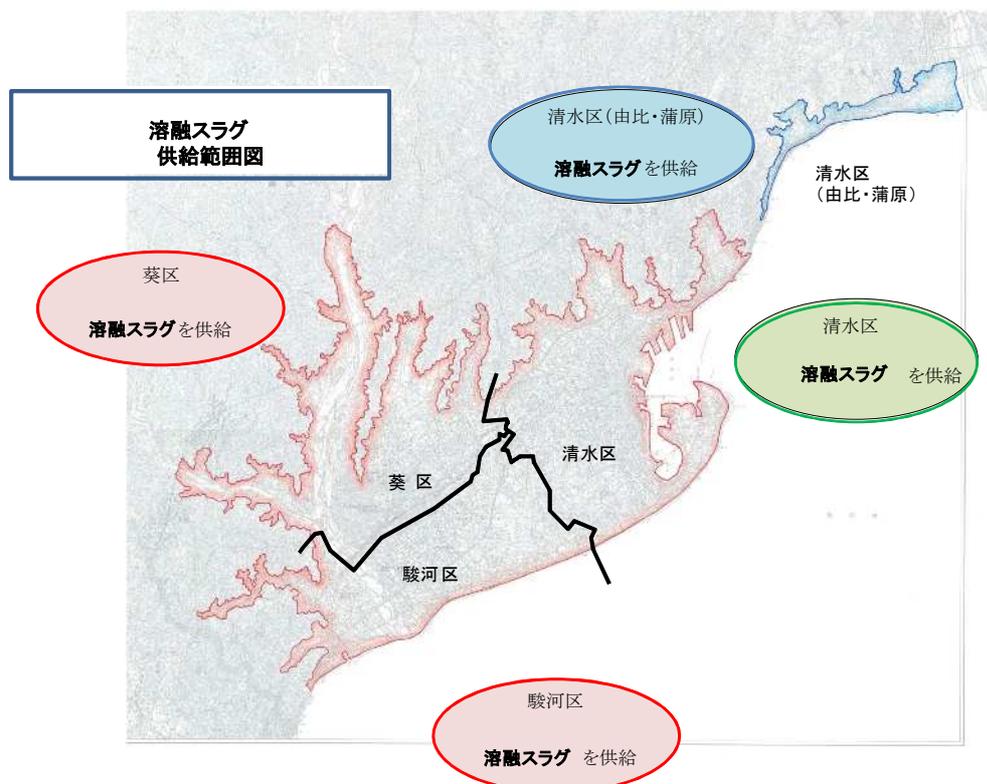
## 6 埋戻し材への利用

### 6-1 利用用途（ガイドラインP.12、16）

静岡市西ケ谷清掃工場において製造される溶融スラグを、埋戻し材に利用することとする。ここで埋戻し材とは、主に砂の代替材を指すものとし、下水道管、水道管及び電線共同溝等の管巻き材等に利用する。但し、利用が難しい場合は再生砂等に変更することができる。盛土材や構造物の基礎材など管巻き材以外での利用を検討されている場合は、技術政策課担当者まで相談ください。

### 6-2 供給範囲（ガイドラインP.14）

供給範囲については、溶融スラグ供給範囲図による。



#### ①溶融スラグ供給範囲

○葵区・駿河区エリア（■）の境界は下記の通りとする。

葵区	藁科川沿線は藁科橋（谷津）より下流とする。 安部川沿線は曙橋（牛妻）より下流とする。 内牧川沿線は門村橋（内牧）より下流とする。 足久保川沿線は八十岡橋（足久保口組）より下流とする。 長尾川沿線は北沼上小学校（北沼上）より下流とする。
駿河区	全域を供給範囲とする。
溶融スラグ供給範囲内の山間地は対象外とする。	

○清水区（由比・蒲原）エリア（■）の境界は下記の通りとする。

清水区 （由比・蒲原）	薩推峠より以東（由比・蒲原）とする。 由比川沿線は牛澤橋（由比東山寺）より下流とする。 善福寺川沿線は善福寺川橋（蒲原）より下流とする。
溶融スラグ供給範囲内の山間地は対象外とする。	

○清水区(由比・蒲原以外)エリア (  ) の境界は下記の通りとする。

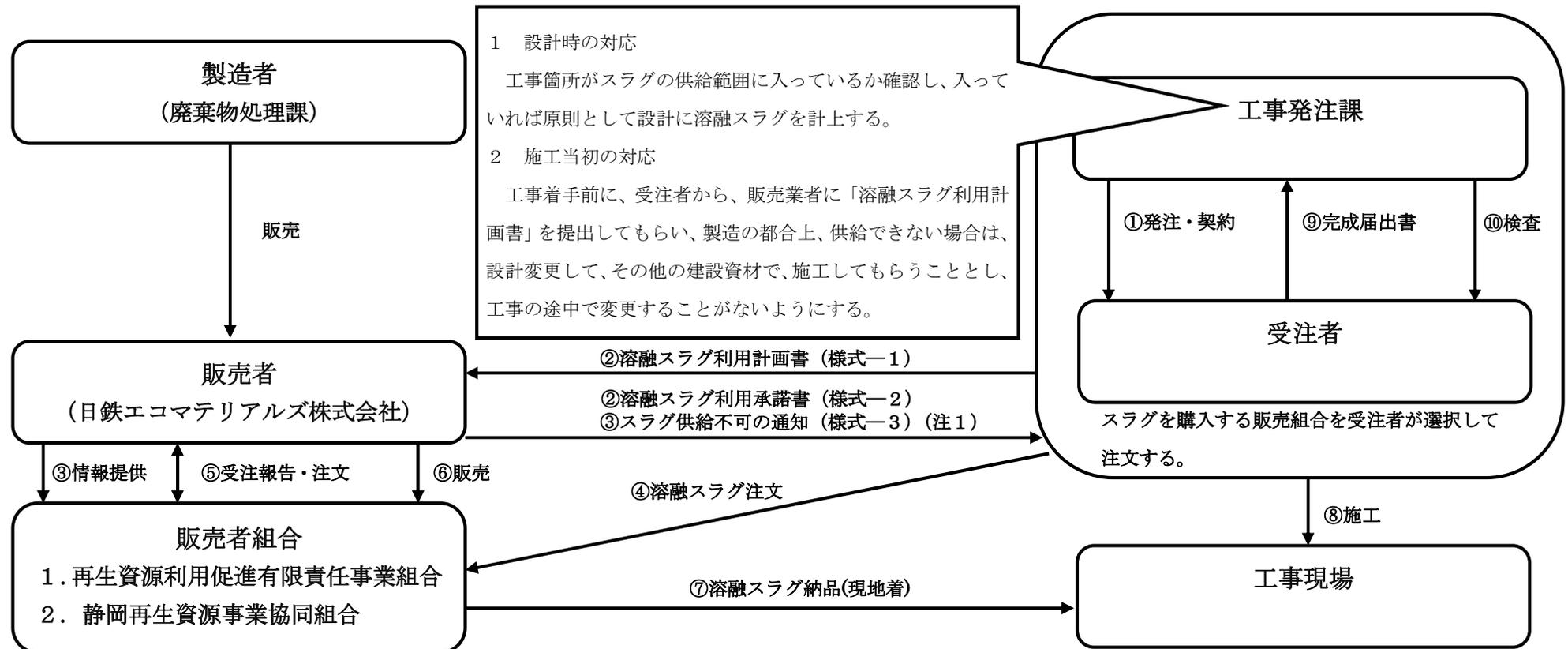
清水区 (由比・蒲原以外)	庵原川沿線は徳林寺橋(伊佐布)より下流とする。
	山切川沿線は杉山橋(山切)より下流とする。
	波多打川沿線は狭橋(茂畑)より下流とする。
	興津川沿線は八幡橋(谷津町二丁目)より下流とする。
	薩推峠より以西(旧清水)とする。
溶融スラグ供給範囲内の山間地は対象外とする。	

### 6-3 施工時の留意事項(ガイドラインP.15、16)

- ① 事務手続きについては、「溶融スラグ利用事務手続き」(ごみ減量推進課)を確認してください。
- ② 受注者は、設計利用量及び各月利用量等必要な事項を記入し、「溶融スラグ利用計画書」(様式-1)を販売業者(日鉄エコマテリアルズ株式会社)に提出してください。  
 ※溶融スラグは、販売者組合より現場引き渡しされます。  
 ※販売業者が供給できない場合は、工事期間中に設計変更が生じないようにする。
- ③ 「溶融スラグ利用計画書」に従い供給が可能な場合は、販売業者から「溶融スラグ利用承諾書」(様式-2)が発行されると同時に、2つの販売者組合には供給を認めたことが情報提供されます。供給が困難な場合は「溶融スラグ供給不可の通知について」(様式-3)が発行される。
- ④ 「溶融スラグ利用承諾書」が発行された場合、受注者はどちらかの販売者組合を決めてスラグの注文を行い「溶融スラグ利用計画書」に従い施工する。
- ⑤ 「溶融スラグ供給不可の通知について」が発行された場合には、受注者は、市監督員と協議し再生砂を使用する。
- ⑥ 受注者の皆様は、溶融スラグの施工時に飛散防止に留意してください。
- ⑦ 溶融スラグの施工時には、溶融スラグの埋設位置を表示するための埋設表示シートは必要ありません。※再生可能な資材であり「処分」の対象にはならないため。
- ⑧ 再生資源利用計画書(実施書)における、建設資材利用の「その他の建設資材」の欄に「溶融スラグ」と明記してください。ここで、溶融スラグの比重は、1 m<sup>3</sup>当り1.7 tとしてください。
- ⑨ 販売者組合は従来の再生資材利用促進有限責任事業組合に加え、平成26年6月に静岡再生資源事業協同組合が設立されましたので(様式-2)に記載のどちらかの組合に連絡してください。

## 6-4 埋戻し材溶融スラグ利用事務手続き

溶融スラグの製造者、販売者及び利用者は、各種様式において事務手続きを実施するとともに、適正かつ計画的に溶融スラグを利用する。



※工事発注課は、スラグ供給範囲内において、発注する工事の材料(再生砂等)を溶融スラグ及びスラグ入り混合砂で設計する。

※受注者は、工事期間内における溶融スラグの利用時期及び利用量を明記した「溶融スラグ利用計画書」を作成し、販売業者に提出するとともに、「溶融スラグ利用承諾書」を受領したうえで、施工スケジュールに合わせ、随時、販売者組合に注文する。

※販売業者(日鉄エコマテリアルズ株式会社)は、組合における溶融スラグのストック量を把握するとともに、製造者(廃棄物処理課)と協議したうえで溶融スラグの供給が困難と認められる場合は、直ちに「溶融スラグ利用計画書」を提出した工事請負人に通知し、利用者は当該工事で設計した溶融スラグの全てを再生砂等に変更する。

(原則として、ひとつの工事の材料に溶融スラグと再生砂等を混合しない。)

注1 工事発注課は、販売業者より、「溶融スラグ供給不可通知」が提出された場合、設計に計上された溶融スラグを全てその他の建設資材に変更する。

(様式-1)

日鉄エコマテリアルズ株式会社 御中

### 熔融スラグ利用計画書

年 月 日

工事発注課名	静岡市 局 部 課		
工事名	年度 第 号		
工事箇所	静岡市 地内		
工事期間	～		
受注者名			
代表者氏名			
住 所	〒		
TEL	( )	FAX	( )
現場代理人 氏 名		現場代理人 TEL	( )

使用材料			
利用用途	埋戻し材(砂の代替材)		
設計利用量	m <sup>3</sup>		
利用時期	各月利用量(m <sup>3</sup> )	利用時期	各月利用量(m <sup>3</sup> )
	4月	10月	
	5月	11月	
	6月	12月	
	7月	1月	
	8月	2月	
	9月	3月	
特記事項			

\* 使用材料は、設計に計上している材料(熔融スラグまたはスラグ入り混合砂)を記入してください。

問合せ先 日鉄エコマテリアルズ株式会社静岡営業所

電話 054-294-7248 FAX 054-294-7249

メールアドレス shizuoka@eco.eng.nipponsteel.com

(様式-2)

年 月 日

受注者名 御中

### 熔融スラグ利用承諾書

日鉄エコマテリアルズ株式会社

年 月 日付の熔融スラグ利用計画について、下記のとおり承諾します。

記

工事名	年度 第 号 工事
-----	--------------

使用材料	・熔融スラグ ・スラグ入り混合砂		
利用用途	埋戻し材(砂の代替材)		
供給量	m <sup>3</sup>		
供給時期	各月供給量(m <sup>3</sup> )	供給時期	各月供給量(m <sup>3</sup> )
	4月	10月	
	5月	11月	
	6月	12月	
	7月	1月	
	8月	2月	
	9月	3月	
特記事項			

※ 施工スケジュールに合わせ、選択したどちらかの販売者組合に連絡してください。

再生資材利用促進有限責任事業組合

静岡再生資源事業協同組合

住所 〒424-0041 静岡市清水区高橋5-1-63

住所 〒424-0007 静岡市清水区石川新町15-16

電話 054 - 367 - 8210 FAX 054 - 371 - 7022

電話 054 - 297 - 4885 FAX 054 - 297 - 4886

(様式-3)

年 月 日

受注者名 御中

熔融スラグ供給不可の通知について

日鉄エコマテリアルズ株式会社

年 月 日付の熔融スラグ利用計画について、熔融スラグのストック量に不足が生じたため、下記の工事については、この通知により、工事監督員と協議し、利用材料を変更くださいますようお願い申し上げます。

記

工事名	年度 第 号
-----	--------

## 7 溶融スラグ入りコンクリート二次製品への利用（ガイドライン P.17）

### 7-1 対象とする二次製品の種類（ガイドライン P.17）

承認を受け、溶融スラグを細骨材として利用した溶融スラグ入りコンクリート二次製品の種類は、下記の表のとおりです。

なお、製品は製造メーカーの意向に基づき製造していただいているため、汎用性及び利用頻度等の理由により変動することがあります。

対象とする二次製品一覧表

大分類	小分類	区分	適用規格
舗装・境界 ブロック類	境界ブロック	片面歩車道境界 ブロック	JIS A 5371
		両面歩車道境界 ブロック	JIS A 5371
		地先境界 ブロック	JIS A 5371
路面排水溝類	L 形側溝	—	JIS A 5371
路面排水溝類	U 形側溝	—	JIS A 5372
	上ふた式 U 形 側溝	本体	JIS A 5372
		ふた	JIS A 5372
	落ちふた式 U 形 側溝	本体	JIS A 5372
		ふた	JIS A 5372
	L 形側溝	—	JIS A 5372

## 7-2 積算単価（ガイドラインP.22）

「溶融スラグ入りコンクリート二次製品」の積算単価は、「溶融スラグを含まない同一種類のコンクリート二次製品」と同一単価とします。

## 7-3 施工時の留意事項（ガイドラインP.23）

- ① 再生資源利用計画書（実施書）における建設資材利用の「コンクリート」又は「コンクリート及び鉄からなる建設資材」の規格欄に「スラグ入り〇〇」等と明記してください。
- ② 特別な事情により、溶融スラグ入りコンクリート二次製品を使用できない場合、溶融スラグを含まない同一種類のコンクリート二次製品で施工してください。

## 7-4 製造メーカー

溶融スラグを細骨材として利用した溶融スラグ入りコンクリート二次製品の製造メーカーは、次ページ以降の表のとおりとなります。

### 【お問合せ先】

技術政策課 建設副産物・施工環境係

電話：054-221-1607

FAX：054-221-1498

E-mail：[gijutsuseisaku@city.shizuoka.lg.jp](mailto:gijutsuseisaku@city.shizuoka.lg.jp)

### 【6-2、6-4に関するお問合せ先】

ごみ減量推進課 清掃施設建設室

電話：221-1362

FAX：221-1076

E-mail：[gomigenryou@city.shizuoka.lg.jp](mailto:gomigenryou@city.shizuoka.lg.jp)

溶融スラグ入りコンクリート二次製品一覧表

◎松岡コンクリート工業（株）取扱い製品①

製品名	規格	製品名	規格
片面歩車道境界ブロック A	150/170*200*600	落ちふた式U形側溝本体 1種 250	250*250*2,000
片面歩車道境界ブロック B	180/205*250*600	落ちふた式U形側溝本体 1種 300A	300*300*2,000
片面歩車道境界ブロック C	180/210*300*600	落ちふた式U形側溝本体 1種 300B	300*400*2,000
両面歩車道境界ブロック A	150/190*200*600	落ちふた式U形側溝本体 1種 300C	300*500*2,000
両面歩車道境界ブロック B	180/230*250*600	落ちふた式U形側溝本体 1種 400A	400*400*2,000
両面歩車道境界ブロック C	180/240*300*600	落ちふた式U形側溝本体 1種 400B	400*500*2,000
地先境界ブロック A	120*120*600	落ちふた式U形側溝本体 1種 500A	500*500*2,000
地先境界ブロック B	150*120*600	落ちふた式U形側溝本体 1種 500B	500*600*2,000
地先境界ブロック C	150*150*600	落ちふた式U形側溝本体 3種 250	250*250*2,000
		落ちふた式U形側溝本体 3種 300A	300*300*2,000
JIS 規格外製品（静岡県型）		落ちふた式U形側溝本体 3種 300B	300*400*2,000
片面歩車道境界ブロック(両面 R)A	150/170*200*600	落ちふた式U形側溝本体 3種 300C	300*500*2,000
片面歩車道境界ブロック(両面 R)B	180/205*250*600	落ちふた式U形側溝本体 3種 400A	400*400*2,000
		落ちふた式U形側溝本体 3種 400B	400*500*2,000
(静岡市型)		落ちふた式U形側溝本体 3種 500A	500*500*2,000
1cm段差乗入	205*80*600 (300)	落ちふた式U形側溝本体 3種 500B	500*600*2,000
A→B変換斜ブロック 右・左	170/205*80*600		
B→B変換斜ブロック 右・左	205*80*600	落ちふた式U形側溝ふた 1種 250	362*55/90*500
		落ちふた式U形側溝ふた 1種 300	412*55/95*500
		落ちふた式U形側溝ふた 1種 400	512*65/110*500
		落ちふた式U形側溝ふた 1種 500	622*75/125*500
		落ちふた式U形側溝ふた 3種 250	362*90*500

◎松岡コンクリート工業（株）取扱い製品②

製品名	規格		
落ちふた式U形側溝ふた 3種 300	412*95*500		
落ちふた式U形側溝ふた 3種 400	512*110*500		
落ちふた式U形側溝ふた 3種 500	622*125*500		
上ぶた式U形側溝本体 1種 150	150*150*600		
上ぶた式U形側溝本体 1種 180	180*180*600		
上ぶた式U形側溝本体 1種 240	240*240*600		
上ぶた式U形側溝本体 1種 300A	300*240*600		
上ぶた式U形側溝本体 1種 300B	300*300*600		
上ぶた式U形側溝本体 1種 300C	300*360*600		
上ぶた式U形側溝本体 1種 450	450*450*600		
上ぶた式U形側溝本体 1種 600	600*600*600		
JISA5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート)			
L形側溝 1種 250B	450*155*600		
L形側溝 1種 300	500*155*600		
JISA5371 (プレキャスト無筋コンクリート)			
L形側溝 250A	350*175*600		
L形側溝 250B	450*175*600		